開拓使

①

開拓使

別紙外務省伺露領「カルサコフ」ヘ日本領事ヲ置ノ儀朱書ノ通及指令候條此旨為心得相達候事

明治九年一月十八日

太政大臣三條實美

露領カルサコフヘ日本領事ヲ置クノ儀

伺

本年十一月十日百六拾四号布告ヲ以露西亜國ト千島樺太交換ノ條約公布相成右第六款第一條ニ全露西亜國皇帝陛下ハ日本政府ヨリ「コルサコフ」即クシユンコタン港ヘ其領事館又ハ領事兼任ノ吏員ヲ置クノ權理ヲ認可スト有之同港ハ日本所属ノ土人并旧ニ仍リ漁猟又ハ出稼ノ為出入スル日本人民當分ノ内ハ不少趣可有之ト存候條領事官派出兼テ開拓使ノ事務有之時々ヲモ帯任シ人民保護ノ殘務ヲ兼理セシメ候様相成度尤海外公使領

事ニ定之額金ノ内ヲ以仕賄可相成哉

尚其場所ニ定額取調新設ノ儀ニ付

不足之節ハ増額相成度依テ此段相伺候也

八年十二月五日　外務卿寺島宗則

太政大臣三條實美殿

本文地名ノ儀露國ニテハ從前彼地ヲカルサコフト稱來ル候處クシユンコタニテ旧稱ヲ用ス彼國ノ公称ヲ用ル方當然ト存候也

伺之通魯國領カルサコフヘ領事ヲ被置候事

但経費ノ儀ハ海外公使領事定額金ノ内ヲ以精々支辨候様注意可致事

明治九年一月十八日

②

開拓使

別紙教部省伺札幌神社修繕並拝殿等新造ノ儀事實難閣次第ニ付聞届朱書ノ通及指令候條右費用ノ儀ハ其使經費定額内ヲ以仕拂相立修営可取計此旨相達候事